

別 冊 目 次

1. 水圧試験実施要領の制定について

- ・ 水圧試験実施要領・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・ 水圧試験自主検査証（様式）・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- ・ 水圧試験自主検査証（記入例）・・・・・・・・・・・・・・ 4
- ・ 添付書類（写真撮影例）・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ 添付書類（水圧試験加圧図）・・・・・・・・・・・・・・ 8

2. 給水装置新設等申し込みに係る注意事項

2-1 様式記入例

- 2-1-1 給水装置工事新設等申込書・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 2-1-2 給水装置工事設計審査申請書・・・・・・・・・・・・ 10
- 2-1-3 給水装置工事完成届・・・・・・・・・・・・・・ 12

2-2 申請図面作成上の注意

- 2-2-1 記入方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 2-2-2 作図・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
- 2-2-3 図面作成例（位置図・平面図・立面図・分岐平面図・分岐断面図
・ 土工図・水理計算書）・・・・・・・・・・・・・・ 16
- 2-2-4 水理計算書（計算例）・・・・・・・・・・・・・・ 23

水圧試験実施要領

水圧試験自主検査証を提出する場合は、以下の要領で水圧試験を実施し、実施状況に係る写真を提出する。

1. 水圧試験が必要な工種

- 1) 給水装置の新設工事
- 2) 改造工事で既存施設の全面改造の場合。なお、増設・変更工事の場合は増設・変更部分と既設部分がバルブ等により遮断できる場合は増設・変更部分のみで可とする。

2. 試験方法および条件

試験の方法等については原則として下表のとおりとする。

管種	試験圧力	試験時間	合格判定基準	チャート記録	試験前後の写真提出
HIVPのみ	0.75MPa	5分	試験圧力に達した5分後の圧力降下が認められないこと	不要	要(時計入り)
架橋ポリエチレン管 (ヘッダー配管含む)		1時間	試験圧力に達した1時間後 0.45MPa以上であれば合格とする	要	要
ポリブデン管			試験圧力に達した1時間後 0.55MPa以上であれば合格とする		
ポリエチレン二層管			試験圧力に達した1時間後 0.55MPa以上であれば合格とする		

※試験実施の際は空気抜きを十分行うこと。

※詳細については都度協議すること

3. 水圧試験実施状況写真

- ①水圧試験を実施した箇所の全景とテストポンプを給水装置に設置している状況が確認できる写真
- ②水圧試験を自主管理とする場合は試験前後の写真(HIVPのみの時は時計などを一緒に写すこと)
- ③水圧試験の実施時に実施箇所にて測定した静水圧の写真

※給水管の分岐時と自家水配管の切替時に行う水圧試験については、従来どおり水道局職員による現地立会を必要とする。

※提出されたチャートや写真に不備が認められた場合は、水圧試験の実施状況を水道局職員による現地立会で確認する場合がある。

※自記圧力計の貸出しを水道局営業課で行う。

雲南市長 様

水圧試験自主検査証

指定給水装置工事事業者 所在地
 名 称
 代表者
 主任技術者

竣工した給水装置に対し、下記のとおり試験水圧をかけ、漏水・変形・破損、そのほかの異常は生じませんでした。なお、この件に関し紛争が生じたときは、指定給水装置工事事業者の責任において解決します。

記

- 1 水圧試験実施日 年 月 日
- 2 給水装置設置場所 雲南市
- 3 給水装置工事申請者
- 4 承認番号 第 一 号
- 5 試験結果

管種(該当するものに○印)	試験圧力	試験時間
・全てVP配管	0.75MPa	5分間
・VP以外又はVPとその他管種の併設 管種を記入()		60分間
試験結果 良 ・ 否	試験終了時圧力	MPa
	実測静水圧	MPa

6 添付書類 水圧試験を記録したチャート、水圧試験実施状況写真、水圧試験加圧図(試験箇所を明示したもの、別紙水圧試験実施要領による)

水圧試験記録チャート貼り付け台紙

1. 給水装置工事申請者

2. 給水装置工事施工場所 雲南市

3. 承認番号 第 一 号

4. 水圧試験実施日時 年 月 日
時 分 ~ 時 分



水圧試験記録チャート貼り付け位置

記入例

令和 5年 3月 15日

雲南市長 様

水圧試験自主検査証

指定給水装置工事事業者 所在地 **雲南市加茂町加茂中〇〇〇-〇**
名称 **雲南水道工事株式会社**
代表者 **雲南 三郎**
主任技術者 **雲南 三郎**

竣工した給水装置に対し、下記のとおり試験水圧をかけ、漏水・変形・破損、そのほかの異常は生じませんでした。なお、この件に関し紛争が生じたときは、指定給水装置工事事業者の責任において解決します。

記

- 1 水圧試験実施日 **令和5年3月10日**
2 給水装置設置場所 **雲南市三刀屋町給下〇〇〇番地**
3 給水装置工事申請者 **島根 太郎**
4 承認番号 **第 4 - 〇〇〇 号**

5 試験結果

管種 (該当するものに○印)	試験圧力	試験時間
・全て VP 配管	0.75MPa	5分間
・VP以外又はVPとその他管種の併設 管種を記入(架橋ポリエチレン管)		60分間
試験結果	試験終了時圧力	0.65 MPa
	実測静水圧	0.54 MPa

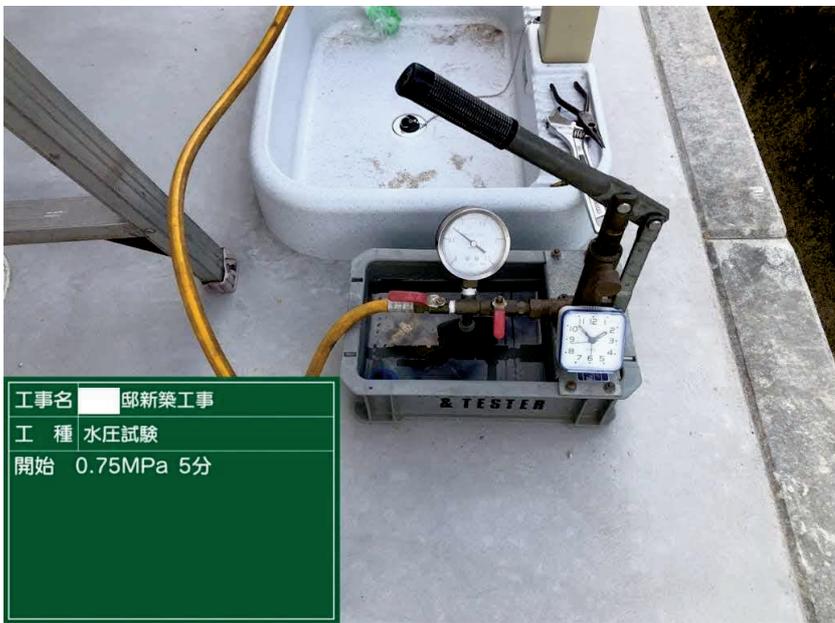
- 6 添付書類 水圧試験を記録したチャート、水圧試験実施状況写真、水圧試験加圧図(試験箇所を明示したもの、別紙水圧試験実施要領による)

水圧試験記録チャート貼り付け台紙

1. 給水装置工事申請者 **島根 太郎**
2. 給水装置工事施工場所 雲南市**三刀屋町給下〇〇〇**
3. 承認番号 第 **4** - **〇〇〇** 号
4. 水圧試験実施日時 令和 **5** 年 **3** 月 **10** 日
13 時 **00** 分 ~ **14** 時 **00** 分



水圧試験記録チャート貼り付け位置



No. _____

水圧試験

開始

0.75MPa

5分



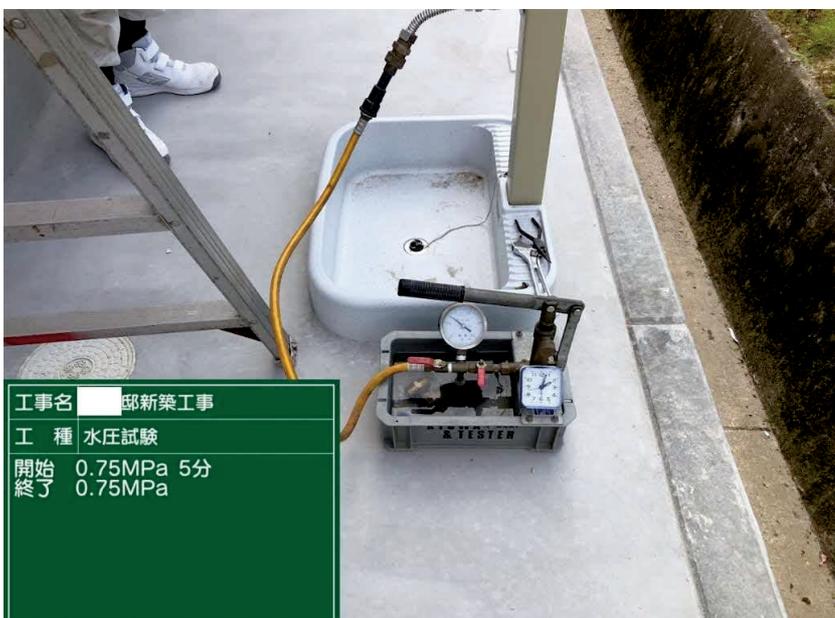
No. _____

水圧試験

開始

0.75MPa

5分

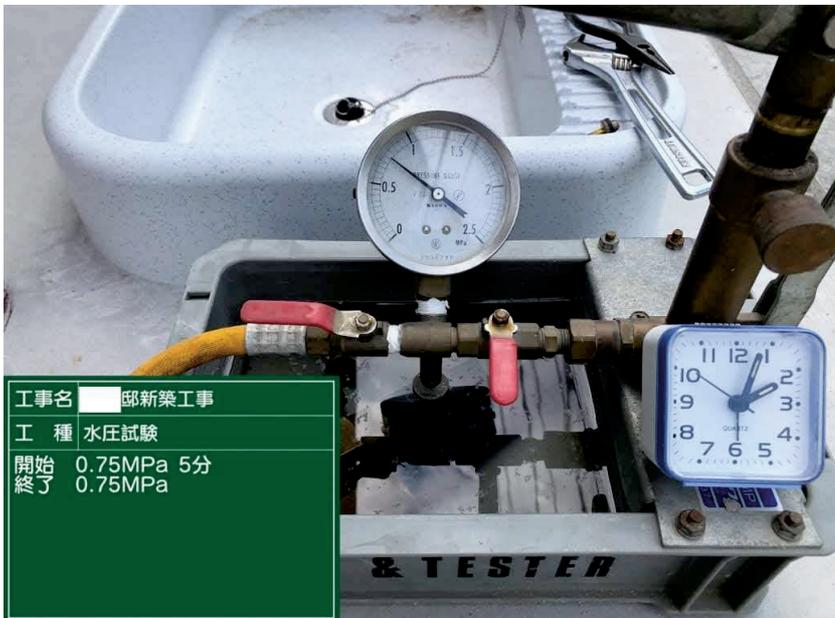


No. _____

水圧試験

終了

0.75MPa

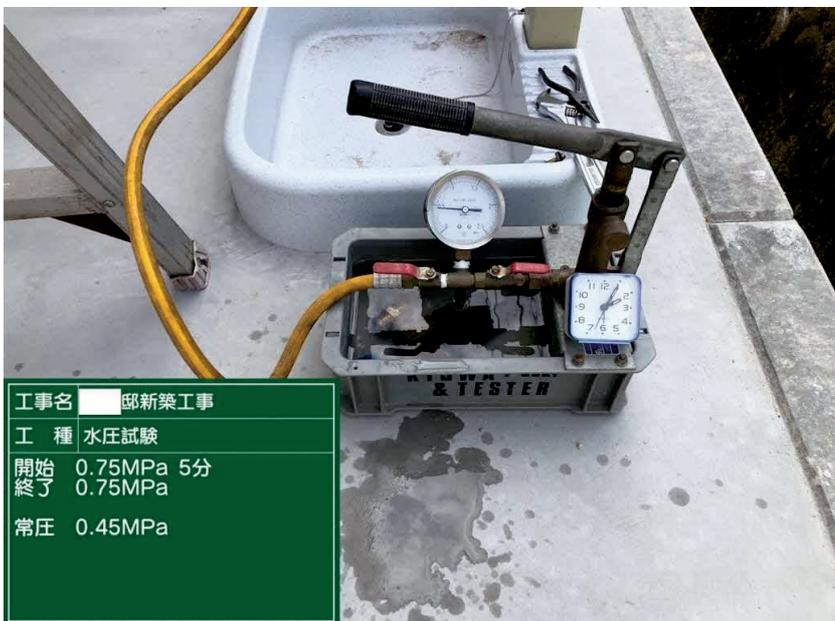


No. _____

水圧試験

終了

0.75MPa

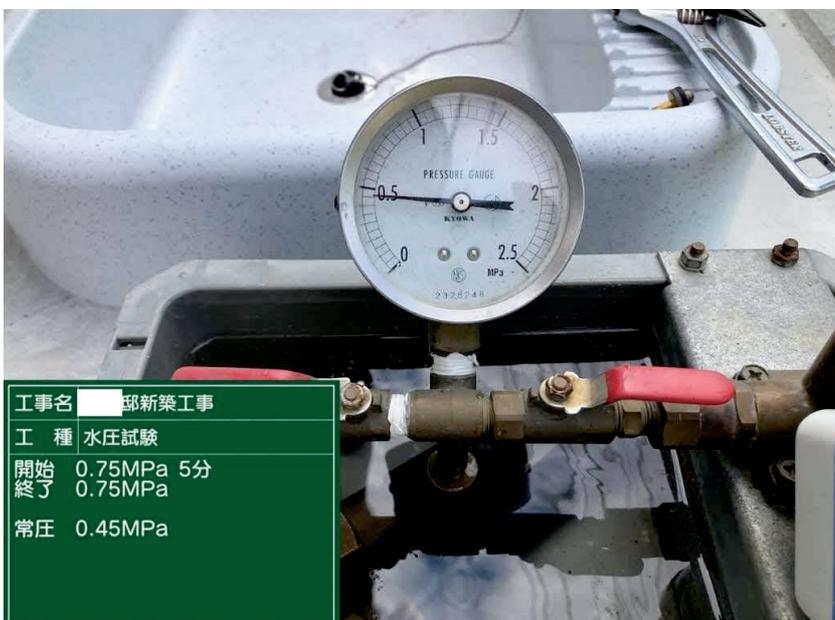


No. _____

水圧試験

常圧

0.45MPa



No. _____

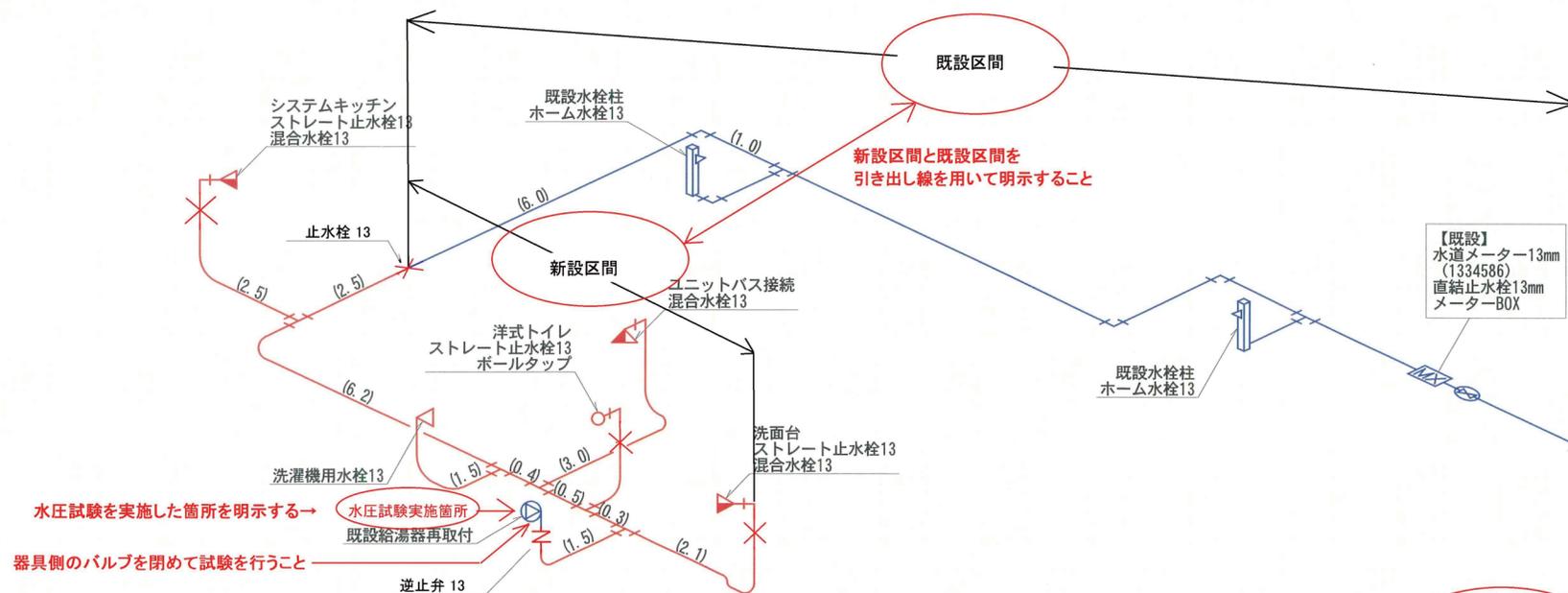
水圧試験

常圧

0.45MPa

水圧試験加圧図 NONSCALE

↑左上に図面の名称と縮尺を記入(ノンスケールでよい)



新設区間と既設区間を
引き出し線を用いて明示すること

水圧試験を実施した箇所を明示する→

器具側のバルブを閉めて試験を行うこと

凡 例	
	水圧試験区間
	水圧試験外

水圧試験区間は赤色実線、水圧試験外は青色実線で記入し、凡例を付す。

給水装置新設等申込書

令和 4年 9月 1日

雲南市長 様

自治会名

住所（事務所の所在地） **雲南市三刀屋町給下〇〇〇番地** (**△△**)

氏名（名称及び代表者） **島根 太郎** (押印不要)

氏名又は名称フリガナ

シ	マ	ネ	タ	ロ	ウ														
---	---	---	---	---	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

電 話 番 号 **0854(45)〇〇〇〇**

次のとおり給水装置の工事をしたいので雲南市水道事業給水条例第6条第1項の規定により承認されたく申し込みます。

給水契約予定者 氏名又は名称	島根 次郎 (←申請者と同じであれば省略可)																				
フリガナ	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>シ</td><td>マ</td><td>ネ</td><td>シ</td><td>ロ</td><td>ウ</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table>	シ	マ	ネ	シ	ロ	ウ														
シ	マ	ネ	シ	ロ	ウ																
給水装置の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 1 専用給水装置 <input type="checkbox"/> 2 共用給水装置 <input type="checkbox"/> 3 私設消火栓																				
給水の用途	一般家庭用																				
給水方法	<input checked="" type="checkbox"/> 1 直圧 <input type="checkbox"/> 2 受水槽 (. m3) <input type="checkbox"/> 3 高架水槽 (. m3)																				
工事の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新設 (<input type="checkbox"/> 止水栓まで) <input type="checkbox"/> 改造 (<input type="checkbox"/> 口径変更) <input type="checkbox"/> 撤去																				
工事施工場所	雲南市 三刀屋町 給下 〇〇〇 番地 (自治会名 △△)																				
工事期間	許可日から令和 5年 3月 31日 まで																				
工事施工者	指定給水装置 雲南市加茂町加茂中〇〇〇-〇 工事業業者 雲南水道工事株式会社 (TEL) 代表取締役 雲南 三郎 (押印は不要) (0854) 47-XXXX																				

給水装置工事に係る付属書

給水管分岐承諾書 (給水管所有者)	上記給水装置工事について私所有の給水管から分岐することを承諾します。 令和 年 月 日 住所 氏名
給水管分岐承諾書 (給水契約者)	上記給水装置工事について私が受水している給水管から分岐することを承諾します。 令和 年 月 日 住所 氏名
給水管埋設承諾書 (土地所有者)	上記給水装置工事について私所有の土地に給水管を埋設することを承諾します。 令和 4年 9月 1日 住所 雲南市三刀屋町給下XXXX-〇 氏名 島根 広志
その他	

給水装置工事完成届

承認番号	第 4 - 〇〇 号
施工主の 氏名又は名称	島根 太郎
工事区分	<input checked="" type="checkbox"/> 新設（ <input type="checkbox"/> 止水栓まで） <input type="checkbox"/> 改造（ <input type="checkbox"/> 口径変更） <input type="checkbox"/> 撤去
工事場所	雲南市 三刀屋 町 給下 〇〇〇 番地
工事期間	令和 4年 9月 14日から 令和 5年 3月 15日まで
<p>上記の給水装置工事を施工したので届け出ます。</p> <p>令和 5年 3月 16日</p> <p style="text-align: center;">指定給水装置工事事業者 雲南水道工事株式会社</p> <p>雲南市長 様</p>	

※ 以下の項目については、届出人において記入の必要はありません。

局長	次長	課長	リーダー	担当	合議

2-2 申請図面作成上の注意

図面は工事施工の際の基礎であり、給水装置の適切な維持管理のために必須な資料である。従って、製図に際しては以下に示すものを標準として、誰にも容易に理解し得るよう表現することが必要である。

2-2-1 記入方法

1) 標準表示線 給水装置工事の配管図等に使用する表示線は以下のとおりとする。

- ア) 新設給水管（受水槽以下の装置を含む）・・・赤色の実線
- イ) 既設給水管（受水槽以下の装置を含む）・・・青色の実線
- ウ) 自家水（井戸水、山水等）配管・・・・・・・・・・緑色の実線
- エ) 撤去管・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・橙色の実線

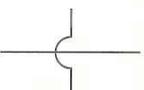
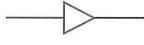
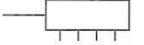
※凡例を付すこと。

2) 標準記号 図面に使用する表示記号は、以下の記号を標準とする。

①給水管の管種の表示記号

管種	表示記号	管種	表示記号	管種	表示記号
硬質塩化 ビニルライニング鋼管	SGP-V	硬質ポリ塩化 ビニル管	VP	ダクタイル鋳鉄管	DIP
耐熱性硬質塩化 ビニルライニング鋼管	SGP-HV	耐衝撃性硬質 ポリ塩化ビニル管	HIVP	鋳鉄管	CIP
ポリエチレン粉体 ライニング鋼管	SGP-P	耐熱性硬質 ポリ塩化ビニル管	HTVP	鉛管	LP
塗覆装鋼管	STWP	ポリエチレン二層管	PP	亜鉛めっき鋼管	GP
ステンレス鋼鋼管	SSP	水道配水用 ポリエチレン管	HPPE	石綿セメント管	ACP
波状ステンレス鋼鋼管	CSSP	架橋ポリエチレン管	XPEP		
銅管	CP	ポリブテン管	PBP		

②弁栓類その他の表示記号

名称	表示記号	名称	表示記号	名称	表示記号
止水栓		消火栓		管の交差	
逆止弁		防護管 (さや管)		メーター	
		口径変更		ヘッド	

③給水栓類の表示記号（平面図）

種 別	表示記号	種 別	表示記号	種 別	表示記号
給水栓類		湯水混合水栓		特殊器具	

※特殊器具とは、特別な目的に使用されるもので、例えば湯沸かし器、ウォータークーラー、電子式自動給水栓等を指す。

④給水栓類の表示記号（立面図）

種 別	表示記号	種 別	表示記号	種 別	表示記号	種 別	表示記号
給水栓類		シャワーヘッド		フラッシュバルブ		止水栓 (アングル止水栓・ ストレート止水栓等)	
ボールタップ		湯水混合水栓		特殊器具			

⑤受水槽その他の表示記号

名 称	受水槽	高置水槽	ポンプ	加圧ポンプ
表示記号				

3) 用紙 用紙はA3判、A4判などの用紙を用いるものとし、工場や大規模店舗など指定の大ききで作成できない場合は、A2判を使用し、図面の種類と縮尺を図面左肩に記入すること。

4) 図面の種類 給水装置工事の計画、施行に際し、位置図、平面図、立面図等を作成すること。詳細は以下のとおり。

イ) 位置図 申請地（施工場所）を中心として、その付近の地名や道路及び河川、鉄道、主要な建物等を記入すること（住宅地図等を使用）。

ロ) 平面図 道路および建築平面図に給水装置及び配水管の位置を図示したもの。

ハ) 詳細図 平面図で表すことが出来ない部分を別途詳細に図示したもの。

ニ) 立面図 建物や給水管の配管状況を立体的に図示したもの。

ホ) 断面図 給水管の配管状況（土被り、平面延長等を記入）の断面を図示する。

5) 文字

- イ) 文字は明確に書き、漢字は楷書、数字はアラビア数字とする。
- ロ) 文章は左横書きとする。

6) 縮尺

- イ) 平面図は、縮尺 1/100 又は 1/200 を標準として適宜作成すること。
- ロ) 縮尺は図面ごとに記入すること。

- 7) 単位 給水管及び配水管の口径の表記はmmとし、単位記号はつけない。給水管の延長の表記はmとし、単位記号はつけない。なお、延長は小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで記入する。

2-2-2 作図

- 1) 方位 作図にあたっては必ず方位を記入し、北の方向を上にするを原則とする。
 - 2) 位置図 申請地(施工場所)を中心として、その付近の地名や道路及び河川、鉄道、主要な建物等を記入すること(住宅地図等を使用)。
※左肩に「位置図」の表記と縮尺を記入する。
 - 3) 平面図 平面図には、次の内容を記入する。
 - ①給水栓等給水用具の取付位置
 - ②境界からの甲型止水栓、水道メーターの距離(2点から測定)
 - ③境界から水道メーターまでの延長(引き出し線で表示)
 - ④布設する給水管の管種、口径、延長及び位置
 - ⑤隣接道路の種類別(公道及び私道の区分、公道にあつては路線名、舗装種別、幅員、歩車道区分)
 - ⑥公私有地、隣接敷地の境界線
 - ⑦分岐する給水管及び既設配水管等の管種、口径
 - ⑧その他工事施工上必要とする事項(障害物の表示等)
 - 4) 詳細図 平面図で表すことのできない部分に関して、縮尺の変更による拡大図等により図示する。
 - 5) 立面図 給水の配管状況を立体的に示したもの。施工する管の種類、口径及び寸法等を記入する。
 - 6) 分岐平面図 給水管の分岐がある場合、分岐箇所周辺の平面図を作成する。道路や河川などの占用を伴う場合は占用距離や官民境界を明示する。
 - 7) 分岐断面図 給水管の分岐がある場合、分岐箇所周辺の断面図を作成する。占用を伴う場合は、占用距離や官民境界を明示するほか、土工図を作成し、復旧の方法が分かるようにする。
- ※占用を伴う場合は現地写真を2～3枚程度撮影し、分岐する既設配水管(青色実線、管種と口径を記入)や新設給水管(赤色実線、管種と口径を記入)を記入の上、占用距離を明示した写真帳を添付する。